

学部間協定留学 留学報告書

記入日：2019年1月20日

基本情報	
所属学部・学科	経営学部経営学科
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
留学先国	フランス
留学期間	2018年8月～ 2019年1月
留学時の学年	4年生（渡航した時の学年）
帰国年月日	2019年 1月18日
明治大学卒業予定時期	2019年3月
留学先大学について	
大学名（英文・和文）	英文：IPAG Business School 和文：イパッグビジネススクール
所属学部またはコース名	BBA3
キャンパスの所在地	パリ
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦（Academic Year）	春学期： 月～ 月（期末試験期間： ） 秋学期： 9月～12月（期末試験期間：12月上旬～中旬にかけて）
所属学部の学生数	100人程度。すべて留学生。（2、3人はフランス人がいた。）
留学生の割合	授業はすべて留学生専用であったので、100%留学生であった。

留学にかかった費用			
項目	現地通貨（€）	円	備考
授業料		円	<input checked="" type="checkbox"/> 交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舍費	3,200 ユーロ	約 416,000 円	一ヶ月：800 ユーロ。
食費	2,500 ユーロ	325,000 円	一ヶ月：約 500 ユーロ。
通学費	300 ユーロ	約 39,104 円	一ヶ月：75.20 ユーロ。
学校用品		3,000 円	マーケティング関連の授業に関しては先生の PDF をもとに授業が構成されており、フランス語の授業も先生のプリントをもとに行っていました。かかった費用に関しては、日本から持って行ったフランス語のテキスト、ノート4・5冊のおおよその値段です。
教養・娯楽費	400 ユーロ	52,000 円	友人とのレストランやバー、カフェに行った値段のおおよその総額です。レストランやカフェは少し高めの金額でした。
被服費	300 ユーロ	約 39,000 円	衣服等。
医療費		0 円	
保険費		51,670 円	保険会社：東京海上日動火災保険株式会社。
渡航費		182,130 円	
旅行費		約 300,000 円	留学中に旅した国：スペイン、ドイツ、イタリア等の EU 諸国。
語学学校		円	授業料： 宿泊費：

奨学金/助成金		円	奨学金：400,000 円。 助成金：
その他	45 ユーロ	5,850 円	Free という携帯会社の SIM の値段です。
合計		1,413,754 円	

渡航について

1) 航空券を購入した時期

留学先へ出願後 入学許可書受領後 ビザ取得後 出発直前 その他 ()

2) どのように購入しましたか？

エイビーロードというウェブサイトで検索し、株式会社ゼロワントラベルという会社が航空券を手配し、航空券を購入しました。

3) 渡航経路を教えてください。

(往路) 東京・羽田空港－パリ・シャルルドゴール空港
(復路) パリ・シャルルドゴール空港－東京・羽田空港

4) 航空券代金

利用航空会社：JAL

往路：_____

復路：_____

合計：182,130 円。(往復航空券を取ったので、往路・復路それぞれの値段はわかりません。)

5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。

航空券は早めに手配し、多くのサイトを見たほうが良いです。

留学中の滞在先について

1) 種類 (留学中の滞在先)

寮 アパート ホームステイ その他 ()

2) 部屋の形態

個室 相部屋 (同居人数：)

3) 住居の探し方

留学先機関が斡旋 自分で探す

4) 大学までの利用交通機関と通学時間 (片道)

利用交通機関 バス 電車 自転車 徒歩 その他 ()

通学時間 (片道) 30～40 分程度。

5) 滞在中の食事について

【平日】

朝： 寮 自炊 外食 その他 ()

昼： 寮 自炊 外食 その他 ()

晩： 寮 自炊 外食 その他 ()

【休日】

朝： 寮 自炊 外食 その他 ()

昼： 寮 自炊 外食 その他 ()

晩： 寮 自炊 外食 その他 ()

6) 滞在先に関する総合的な感想 (これから留学する人のためのアドバイス)

滞在先に関しては、前半は寮、後半は Airbnb で探してフランス人女性とホームステイをしました。寮からホームステイに変更した理由は、寮から学校まであまりに遠く、実際にウェブサイトを見た情報と違うことがいくつかあったからです。具体的には、フランス語しか話すことのできないマネージャーがおり、コミュニケーションが少し大変でした。また当初はジムも併設しておらず、洗濯機・乾燥機のトラブルが多々ありました。部屋の内部は非常にきれいでしたが、寮内にもフランス語しか話すことので

きない人がたくさんいたので、英語でのコミュニケーションを取りたい方は検討したほうが良いと思います。後半のホームステイでは非常に充実した生活を送ることができました。場所もよく、ホストマザーはとても親切でした。パリで家探しは非常に大変で、学校側のサポートもそれほど多くなかったです。IPAG から斡旋されるウェブサイトはあまりお勧めできません。MixB やフェイスブックのような SNS を活用して、情報を探す事をお勧めします。(私は IPAG から斡旋されるウェブサイトしか知らなく、パリに来てからそれらの方法でも情報を集められることを知りました。) または、最初の 1~2 週間はホテルか Airbnb に滞在し、その間に実際見ながら物件を探すのもよいと思います。さらに物件の場所はしっかりと見たほうがいいです。パリの郊外、治安のよくないところに住むと、身の危険を感じると思います。安全でかつパリの区内にある地域を選ぶといいでしょう。

現地に関する情報

1) 留学中は病院にかかりましたか？

はい (利用機関名:) いいえ

2) 大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか？

はい いいえ わからない

3) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか？

同じビジネススクールに通う友人やホストマザー、フランス人の友人に相談した。

4) 留学先大学に相談窓口はありましたか？

はい いいえ わからない

5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか？

情報収集

現地コーディネーター 友人 ネット (参考サイト: 外務省のサイトに登録していたので、11 月以降は毎週のようにデモに関するメールを受け取っていた。) その他 ()

防犯対策

治安は日本よりは悪いです。常にバックは気を付けて持ち、貴重品の管理は徹底していました。また 11 月以降はデモのため、土曜日に外出する事を控えていました。もしくは土曜日に外出する場合は昼間、近所のスーパーやカフェのみにしていました。一番気を付けなければならない場所は、電車です。夜遅くに電車に乗ることはできるだけ控え、遅くなる際は Uber を利用していました。また電車内では荷物を前で抱えながら乗っていました。電車内・駅のホーム共にホームレスが非常に多かったです。お金を集めるために寄ってきますが、基本的に目を合わさないようにしていました。

6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか？

はい いいえ

7) 6 で「はい」と答えた方: その際どのように対処しましたか？

8) パソコン、携帯電話、インターネットについて、現地での利用状況はいかがでしたか？

パソコン

学校やカフェ、家等で利用していました。Wi-Fi がある場所で利用していたので、基本的に困ったことはありませんでした。

インターネット

ネット環境は、Wi-Fi があるところは良いですが、電車内や地下、お店の奥はあまり利用することができなかったです。

携帯電話

電車や地下、お店の奥では利用できません。また電車内や道路では盗難の危険性があるので、利用する際は注意していました。

9) 現地での資金調達はどうに行いましたか？ お勧めの方法があれば紹介して下さい。

日本で三井住友銀行のカードを VISA デビットカードに変更してから渡航しました。このカードがあれば、日本の銀行口座に親からお金を入金してもらい、VISA や Plus という表示のある ATM で現金を引き出すことができました。手数料は 108 円でした。またクレジットカードも併用していました。むしろクレジットカードがどこでも利用できるの、クレジットカードを利用することのほうが多かったです。

10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。

基本的に現地ですべて調達可能ですが、こだわりのあるものは日本から持って行ったほうがいいと思います。私は、シャンプーやリンス、洗顔、化粧水、乳液、化粧品、生理用品を日本から持って行きました。水が硬水なので、髪や肌が傷みやすかったと思います。

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他 ()

2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか？

留学前に就活は終わりました。時期的には 4.5 月あたりであったと思います。3 年生の 12 月以降から就活を始めていたので、早い段階から動いていました。

3) 就職を選択した方は、内定時期とその企業を選んだ理由を教えてください。

内定時期	2018 年 3 月
企業名	(差支えなければご記入ください) マーシュジャパン株式会社
業界	保険・リスクコンサルティング業界
その企業或いは業界を選んだ理由	日本の海外進出や成長を支援するような仕事がしたいと考えていたからです。もともとコンサルティング業界も見ていました。多くの企業に関わることができ、グローバルネットワークが強かったため、この企業を選びました。

4) 就職活動について、留学希望者へ向けたアドバイスをお願いします。

私は内定後に留学をしましたが、焦って就活をする必要もないと感じます。もし決まらなかったら、留学後にもう一度やるつもりでした。(決まるという自信もありました。)しかし 4 年時に留学をする場合は、大まかな進路を決め、早い段階から就活を行うことをお勧めします。

5) 進学を選択した方は、進学先が決定した時期とそこに決めた理由を教えてください。

進学先決定時期	
進学先	(差支えなければご記入ください)
その進学先を選んだ理由	

6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします (試験対策など)。

7) その他を選択した方は、今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。

	く事が重要ですが、最後は単語力だと思います。
総合的なアドバイス	何度の本番の試験を受ける事をお勧めします。私は受けるごとに点数が上がったので、勉強も楽しく行うことができました。
この留学先を選んだ理由を教えてください。	
最初はスペインに留学に行こうと考えていましたが、書類提出時期までに点数が足りず、スペインをあきらめました。パリは世界各国から留学生が集まってくるだろうと思い、IPAG を選びました。結果として、パリに留学する事ができ、非常に良い経験になりました。	
大学（キャンパス）と学生の雰囲気をお教えください。	
大学（キャンパス）	IPAG Business School (Paris)
学生	イタリア人やスペイン人をはじめとするヨーロッパ諸国から来る学生、メキシコ人やペルー人をはじめとする南米諸国から来る学生、中国やベトナムをはじめとするアジア諸国から来る留学生と国際色豊かです。EU 圏内から来る留学生が多かったと思います。
現地での交友関係について教えてください。	
正規学生との交流	イベントでの交流はありますが、あまり多くないです。友人を介して知り合うことが多かったです。
留学生との交流	留学生との交流が圧倒的に多かったです。イベントや飲み会等もありました。
留学先大学主催のイベントについて教えてください。	
学校の留学担当者からメールでイベントのお知らせが来たり、学校の留学生交流関連のフェイスブックに情報が載っていたりしました。また What' s up のグループチャットでイベントを掲載していたりもしました。	
課外活動について教えてください。	
課外活動は特にありません。（ガイダンスで紹介がありましたが、ほとんど正規学生が利用していると思います。）	
一日の課題の量を教えてください。	
日によります。まったくやらない日もあれば、2～3時間程度行う日もありました。テキストを読むというよりは、自分たちでリサーチしたものをもとにワードやパワーポイントを作成しました。また、フランス語の授業に関しては、初心者だったので自分で予習・復習しながら課題を行っていました。	
期末試験について教えてください。	
基本的に論述です。内容を理解していれば全く問題ありません。また、論述では習った内容に付け加えて自分の意見も求められるので、割と答えやすかったです。フランス語の授業に関しては、ライティングとスピーキングのテストがありました。	
留学先で直面した困難（壁）について教えてください。	
授業よりも私生活における言語の壁が大きかったです。思った以上に英語が通じないこともあり、当初は苦戦しましたが、伝えるパッションが重要だと思いました。もし時間があるなら、渡航前にフランス語を勉強する事をお勧めします。日常的にも得られるものが多くなるのではないのでしょうか。	
これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。	
どんな理由であろうと、チャンスがあるなら留学に行くべきです。日本では知らなかったことや出会えなかった人々、環境、文化と出会うことができます。違う国で生活することで、知らない世界を知り、柔軟な考え方をすることができるようになっていきます。	

留学先の単位数	6
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input checked="" type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回 240分の授業が隔週で1回程度。
担当教授	Mr. DELARD F.
授業内容	全世界の文化を学び、その違いからどのようにマネジメントを行うべきかについてレクチャーをもとに議論しました。具体的には、Hofstede や Trompenaars の分析方法をもとに文化についての分析をマネジメントの視点から行いました。
試験・課題など	試験に関しては中間と期末試験の二回です。また、毎回の授業で Company case があり、企業の M&A に関する文章を読んで、どのように統合すべきかの議論もしました。最後のレポートとして、3人程度のグループで企業の M&A に関するレポートを作成します。私たちの班はイタリア人と日本人のグループだったので、日立製作所とアンサルドブレダ社における鉄道事業の M&A を取り上げ、課題を行いました。
感想を自由記入	世界中の文化について学んだことで、それをどのように活かしながらマネジメントにつなげるのかを考えることができました。今までは日本企業のマネジメントを多く見てきましたが、この授業では世界中のあらゆる企業や国を取り扱いました。異なる国の企業が M&A を行うことは近年増えてきています。その際に、単にその企業の強みや経営理念だけを見るのではなく、文化という側面から経営を考える事は非常に重要であると感じました。Hofstede や Trompenaars による分析方法をもとに、文化の違いを学んだことで、細かい文化の違いを学ぶことができました。
履修した授業科目名③	
Business French	
科目設置学部	BBA3&Erasmus
履修期間	2018年9月～12月
留学先の単位数	6
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回 120分の授業が週1回程度。
担当教授	Mr. MALLEN
授業内容	フランス語初級の授業です。先生が配布した資料を基にフランス語の基礎を英語で学習しました。
試験・課題など	試験はスピーキングテストとライティングテストの二つです。スピーキングに関しては、基礎的な質問から、授業で行ったプリントをもとに、クイズのような質問もありました。ライティングでは、穴埋め問題、記号問題が出題され、これらも授業中のプリントをもとに出題されました。課題は毎週あり、プリントで学習したところの復習や予習がありました。
感想を自由記入	日本でフランス語を学んでいなかった私でも授業を受ける事ができました。周りも初心者が多いですが、ラテン語圏の子たちは文法が似ているために理解が速く、授業の進むスピードは非常に速かったです。私は日本から持ってきたフランス語初級のテキストとプリントを照らし合わせながら学習していました。また、スペイン語圏の友人に助けをもらいながら授業を受けていました。課題はプリントにある問題を解く形式や自己紹介文を考えるようなライティングの形式もありました。基本的なことを学んでいましたが、英語と日本語で理解しながら受けていたので、理解するのに時間がかかりました。授業以外にも、先生が市内ツアーやオペラ座に連れて行ってくださったため、フランスの文化についても学び、感じる事ができました。